

取付方法に関する留意事項

電気こたつを長期にわたって安全に、また、お客様に安心してお使いいただくために次の事項にご留意の上、卓部をご設計頂きますようお願い申し上げます。

1. 木枠方式ではヒーターユニット上面は厚さ3ミリ以上のハードボードをお使いください。

- MDF板は熱により変色(黄変)しやすく「焦げた」とのクレームにつながる場合があります。
- 薄いベニヤ板は燃えやすく異常使用などによる異常温度上昇時では火災につながる恐れがあります。

2. 中天板方式ではネジが抜け落ちないように強固な取付方法を選択してください。

- MDFやパーティクルボードでは木ネジでの取付は危険です。熱による伸縮や衝撃でネジが緩みヒーターユニットが落下する恐れがあります。
- 中天板には埋め込み用の雌ネジを用いるなど長期的に安定した取付構造としてください。

3. 中天板方式では予め使用材料のご確認をお願いいたします。

- ヒーターユニットにより中天板が直接過熱蓄熱されるので、比較的温度が高くなります。その為、接着剤や塗装類の揮発成分による「異臭」がクレームとなる場合があります。

4. 電源コードの支持

- 電源コードはこたつ内部で「弛み」があると、使用中足などに引っかかる恐れがあります。この時差し込みプラグの破損や電源コードの損傷の恐れがあります。電源コードに弛みが生じないようにするため、必ず電源コード支持用のクリップを設けてください。

5. プラスチックフレームの材質

- 再生品の混入により耐熱温度や機械的強度が低下することがあります。なるべく耐熱温度の高い樹脂をご使用ください。また、成型品の肉厚にもご留意ください。

6. 布団レス設計のこたつの場合

- 布団を使用しない場合は、周囲の空気温度がほとんど上昇しないため、ヒーターユニットはフルパワー状態となります。したがって、布団を使用した場合と比べ天板の温度が上昇しますので、専用のヒーターを放熱性(熱気が滞らないようにする)を配慮した方法で取り付ける必要があります。
- 天板の温度が上がり過ぎるとソリやヒビ割れの原因となります。また、布団レスの場合はほとんどフルパワー点灯しますので椅子座面の耐熱性や高さにも留意が必要です。